

今年も走って、笑って

老人クラブ連合会スポーツ大会

町老人クラブ連合会スポーツ大会が6月13日(木)、体育センターで行われ、町内から350人の選手が参加しました。

開会式では、白岩隆逸大会長が「人間笑えば脳が活性化される。たくさん笑って過ごしましょう」とあいさつし、選手宣誓は小泊チーム代表の中山禮津さんが行いました。

中里、武田、内潟、小泊の4チームに分かれて競技がスタート。大会種目は、股ボール送り、玉入れ、パン食い、輪投げ、文字合わせ、「おど、おが」さがし、リレー競技が行われ、このうち「おど、おが」さがし競技（封筒にある名前と中間地点にいる



「おが」さがし競技



応援席

同じ名札の「おど、おが」を見つけて手をつないでゴールする）は、相手を間違えるなどハプニング続出。そのたびに応援席からは大きな笑い声が響きました。

また、最終種目の体育センターを往復するリレーでは、高齢者と思えないスピードで走っての真剣勝負。敵味方関係なく「ガンバレ」と声援を送っていました。

大会中ケガもなく各競技を争った結果、1位小泊、2位内潟、3位中里、4位武田となりました。

祖先供養と仏供養

今泉賽の河原例大祭

今泉賽の河原例大祭が6月23日(土)に行われました。例年雨が心配され、この日も早朝は雨が降っていましたが、開会式には晴天へと変わりました。

霊場には多くの参拝者が訪れ、色あざやかな衣装を着た33体の地藏に祈りを捧げ、先祖の霊を供養していました。

この例大祭は、今泉賽の河原講中運営委員会が実施主体となり、霊場内の広場ではさまざま



祈りを捧げる参拝者



ドップくじ引き

なイベントを企画。薄市小の合唱やなにもささ、薄市保育所の歌やダンス発表、中里三味線会による演奏や踊り、中里中吹奏楽部の演奏、ふるさと交流歌謡シヨウ、よさこいなどの芸能発表が披露され、参拝者を喜ばせていました。

また、ビンゴコーナー、ドツブくじ引きなど各種ゲームも企画され、子どもたちが参加して楽しんでいました。